

## 夏の自然体験教室「生きた化石カブトガニをさがせ！せとうちみっけ」 実施報告

実施日時：2025年7月26日（土）15:00-17:30

場 所：広島県竹原市竹原町 ハチの干潟

講 師：大塚 攻 氏（広島大学名誉教授）

参 加 者：10家族30名（大人：14名、子供：16名）

天 候：晴れ

内 容：4億年も昔からほとんど姿を変えずにいることから「生きている化石」と呼ばれるカブトガニ。埋め立てによって繁殖や幼体期に必要な干潟が多く失われ、県内では江田島とハチの干潟でわずかに生息が確認されています。当該行事では、生物多様性の観点から重要度の高い湿地（通称：重要湿地）であるハチの干潟において、干潟の生き物の観察を通して、カブトガニの生態や干潟の役割について学びました。

### 【実施風景】



### オリエンテーション

暑い夏の企画でしたが、カブトガニを見てみたい！と多くの方にご応募いただきました。

まずはハチの干潟がどんな場所か、スケジュール、持ち帰ってほしいこと、注意事項などを共有しました。



### カブトガニの脱皮殻

講師の大塚先生が脱皮殻を準備してくださいました。

初めて近くで見たりさわったりする人がほとんどで、わあ～っと歓声も。



カブトガニ探し  
早速カブトガニや干潟の生き物探しに  
干潟を探検！



カブトガニ発見！！  
干潟に入ってわずか5分で第一発見者！



カブトガニの幼体  
下見の時にはいなかった場所で、あっちでもこっちでも「いたーっ！」と声が上がりました。皆さん、初めてとは思えない観察眼！



2歳幼体も  
わずか1~2cmの赤ちゃんカブトガニも見つかりました。



イワシのアラを置いてみると…  
自然界で魚が死ぬと何が起きるのか実験もしてみました。  
触角を伸ばしたアラムシロガイやヤドカリがすぐに集まり食べ始めました。  
こうした海の掃除屋がいることで、物質循環があり、海もきれいに保たれているんですね。

（アラは後ほど回収しました。）



#### イセシラガイの貝殻

今では希少なイセシラガイ（環境省絶滅危惧Ⅰ類）の貝殻も見つかりました。こちらは年月が経っているのですが、きれいな状態だと数万円もするとか…



#### 2~5歳のカブトガニ

わずか40分で、なんと十数体のカブトガニの子供たちが見つかりました！  
幼体がいることは、ハチの干潟で繁殖が行われている証拠となります。観察後は元いた場所に返しました。

（丸い輪っかはツメタガイの卵塊です。）



#### コメツキガニのバリケード

何か分かりますか？  
カニが作る砂団子ですが、よく見る  
か他のカニと干渉しないよう砂団子で  
バリケードを作っています。



### ゴカイの役割

土を掘り返すと、黒い泥の中にゴカイの巣穴の周辺だけがきれいな砂が…巣穴を作ることで泥の中に酸素を供給し、目に見えない微生物の生息にも役立っています。



### ふりかえり

最後に大塚先生から、見つかった生き物の紹介やカブトガニの保護活動についてお話をいただきました。



昔は竹原市一帯は広い干潟でした。きっとカブトガニや干潟の生き物はたくさんいたのだと思います。埋め立てが進み、干潟はわずかとなり、今は貴重な場所になっています。今日見た生き物のこと、干潟のことを色んな人に伝え、残された貴重な干潟をこれからも残し続けていければと思います。

### ■カブトガニが見られる施設のご紹介■

気になる人はぜひ行ってみてください☆彡

- ・宮島水族館（広島県廿日市市）
- ・さとうみ科学館（広島県江田島市）
- ・なぎさ水族館（山口県周防大島町）
- ・カブトガニ博物館（岡山県笠岡市）